

NPZ アップII

外壁タイル仕上げ用下地モルタル【建築用下地調整塗材】
LT工法用ATB既調合モルタル適合商品

「浮かない」、「強い」、「剥落しない」。外壁タイル仕上げ用下地モルタルとして高い品質を有します。

特長 1

外壁タイル仕上げ用下地モルタルとしての高い品質。

- 浮かない (抜群の接着力)
- 強い (すぐれた熱冷繰り返し抵抗性)
- 剥落しない (面連結性)
- 弾力性 (たわみに変形追従)

特長 2

実現場で積み重ねた豊富な実績。

発売以来、高品質な外壁タイル仕上げ用下地モルタルとして、高層マンション・公共建築を中心に、豊富な実績を持っています。

特長 3

「こて塗り」「吹き付け」どちらも可能。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1304005
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/



JIS A 6916 (CM-2) 規格適合品

標準仕様

製品名	適用部位	適用下地	用途	標準塗り厚	塗り面積	荷姿
NPZアップII	内・外壁 内・外床	RC躯体、PC板、ALCパネル	外壁タイル仕上げ用下地モルタル RC躯体の補修・下地調整	5~10mm	3.1㎡/袋 (7mm厚)	25kg 防湿紙袋入り

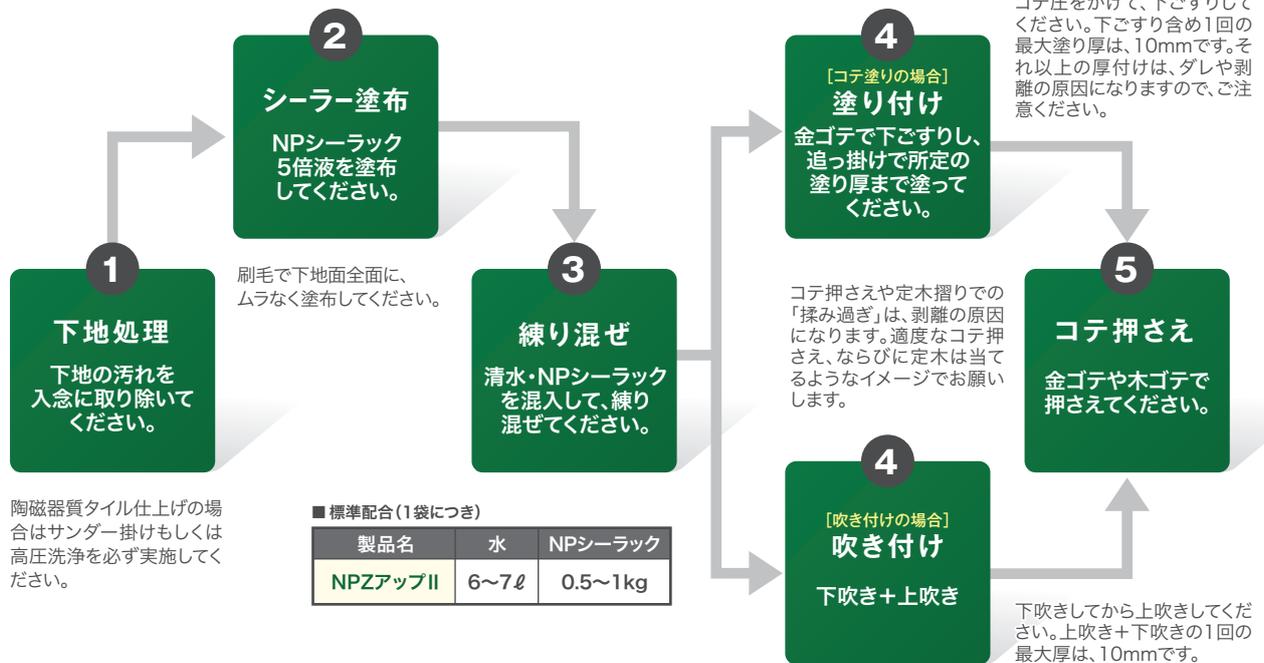
NPZアップIIは、石綿(アスベスト)を一切使用していません。

※露出仕上げでは使用しないでください。

Best Walls, Best Life しつくと共に

日本プラスター株式会社

NP ZアップIIの施工方法



- 早期乾燥の恐れのある強い日射や強風の場合は、シート養生や散水養生を実施してください。
- 気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。
- 仕上げ材施工までに、通常7日以上、冬期14日以上養生を実施してください。
- 製造日をご確認ください。有効期限は製造日より6ヶ月です。

NPZアップIIの性能

試験項目	試験結果	品質規格	
軟度変化 (%)	+2	-20~20	
耐ひび割れ性	なし	ひび割れないこと	
耐衝撃性	なし	ひび割れ及びはがれがないこと	
曲げ強さ (N/mm ²)	6.1	5.0以上	
圧縮強さ (N/mm ²)	22.1	10.0以上	
付着強さ (N/mm ²)	標準養生	2.6	1.0以上
	低温養生	1.4	0.7以上
吸水量 (g)	1.4	2以下	
透水量 (mℓ/h)	0.1	0.5以下	
長さ変化 (%)	0.142	0.15以下	
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性 (N/mm ²)	なし	割れ、崩れ及びはがれがなく、付着強さが1.0N/mm ² 以上であること	
仕上材が陶磁器質タイルの場合の耐久性 (N/mm ²)	1.3	付着強さが0.6N/mm ² 以上であること	

JIS A 6916 建築用下地調整塗材 試験方法による

※記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

■凍結融解抵抗性試験

サイクル	相対動弾性係数 (%)							
	0	30	60	90	120	150	180	210
NPZアップII	100	100	102	101	100	99	99	99

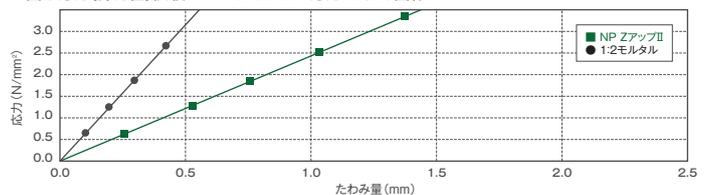
JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤 試験方法による

■熱冷繰り返し抵抗性試験

製品名	接着強さ (N/mm ²)	破断状態
NPZアップII	1.24	上塗りモルタルの凝集破断

日本建築工学会規格 M-101 セメントモルタル塗り用吸水調整材の試験方法による

■曲げ応力(弾力性)試験 NPZアップII 応力-たわみ曲線



試験体作製 各試料を湿練りしたモルタルを、内のり寸法50×150×10mmの金属型枠を用いて成型し、湿空養生で24時間養生した後、脱型し、その後13日間、温度20℃・湿度65%の試験室にて養生して試験体を作製した。
試験方法 試験体モルタルの曲げ強度測定を行い、モルタル変形能力を算定した。

注意事項

〈使用上の注意〉

- 取扱いは必ず保護具 (保護手袋・保護眼鏡・マスク等) を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所に行ってください。
- 取扱後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取扱後の器具類は早めに水洗いしてください。
- 〈応急処置〉
- 目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈運送上の注意〉

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。
- 〈廃棄上の注意〉
- 都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 〈漏出時の注意〉
- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。